

# 「人口減少と地域人口構造」

(地域人口第1章)

2008年2月2日(土)明治大学秋葉原サテライトキャンパス  
人口学研究会【第502回定例会】第2報告

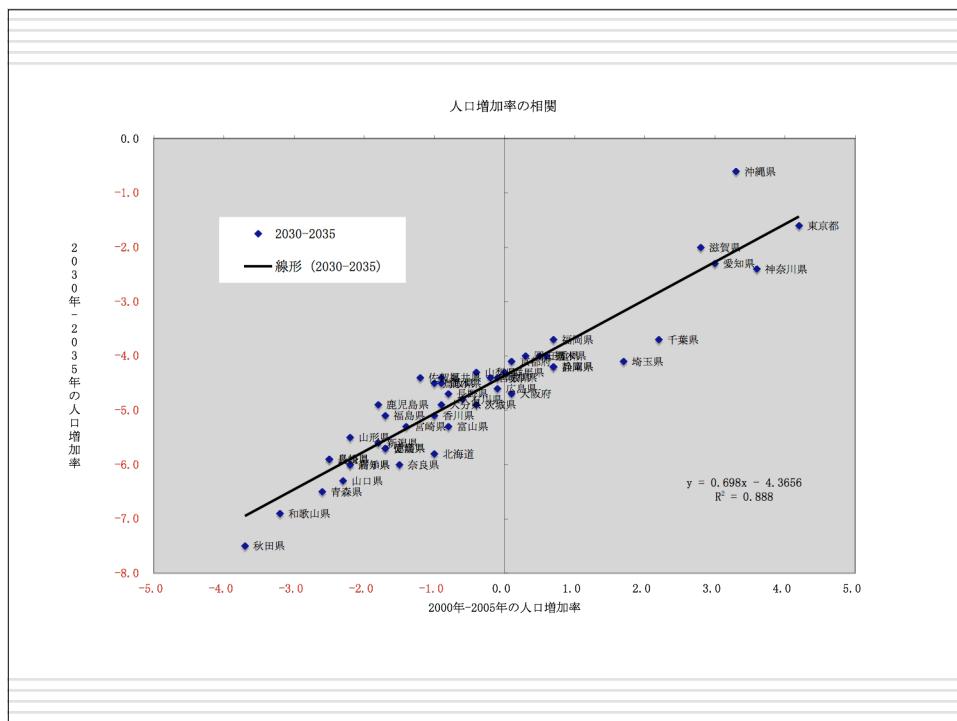
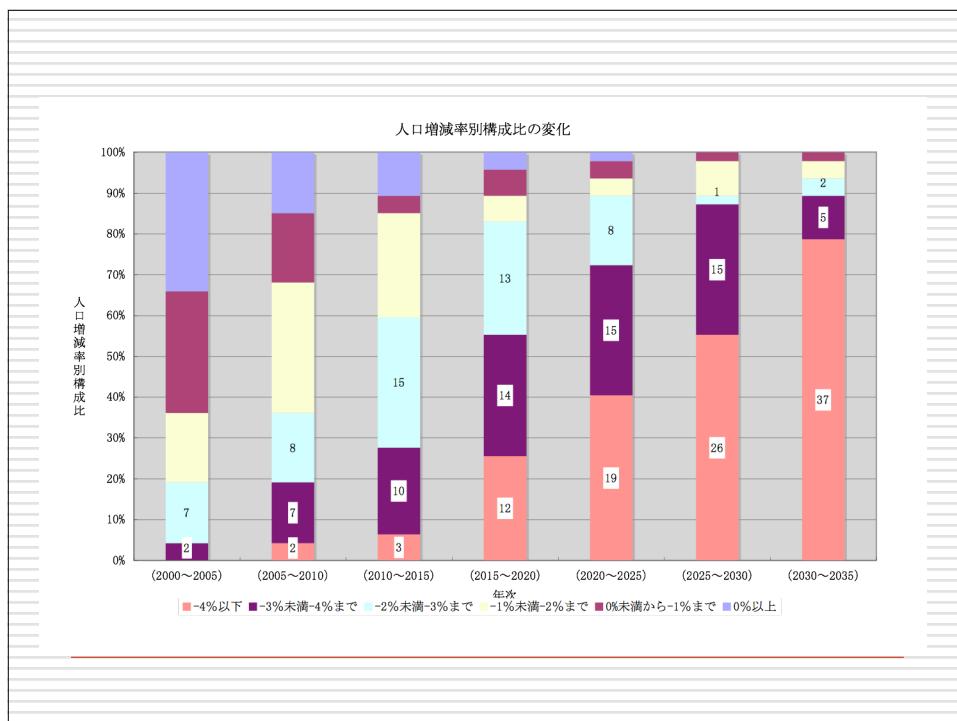
原俊彦(札幌市立大学)

## 1. 人口減少の広がり

- 2020年代後半までには、すべての都道府県が人口減少に突入
- 人口減少率は時間とともに大きくなる

表1 人口増減率別都道府県数の変化 2007年推計

人口増減率	平成12～17年 (2000～2005)	平成17～22年 (2005～2010)	平成22～27年 (2010～2015)	平成27～32年 (2015～2020)	平成32～37年 (2020～2025)	平成37～42年 (2025～2030)	平成42～47年 (2030～2035)
0%以上	16	7	5	2	1	0	0
0%未満から-1%まで	14	8	2	3	2	1	1
-1%未満-2%まで	8	15	12	3	2	4	2
-2%未満-3%まで	7	8	15	13	8	1	2
-3%未満-4%まで	2	7	10	14	15	15	5
-4%以下	0	2	3	12	19	26	37



## 2. 人口規模と人口シェアの変化

### □ 各都道府県の人口規模が縮小

- 秋田県で68.4（31.6%の減少）
- 沖縄県104.4（4.4%の増加）
- 東京都100.9（0.9%の増加）

### □ 全国に占める人口シェアの変化

- 東京都・神奈川・愛知・千葉・埼玉・福岡で増大
- 大部分の府県はシェアを低下
- 北海道と大阪府では人口シェアが大きく低下

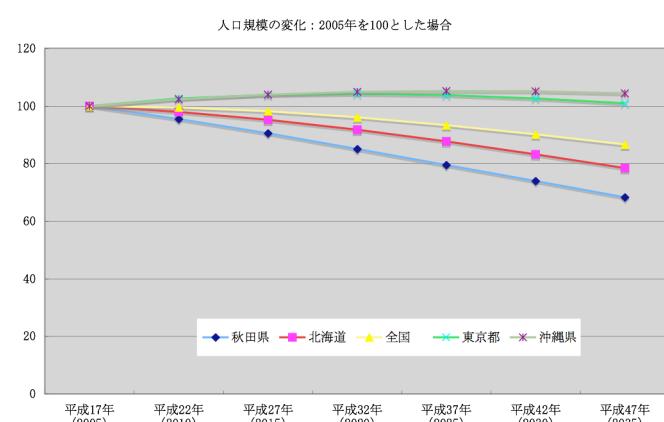
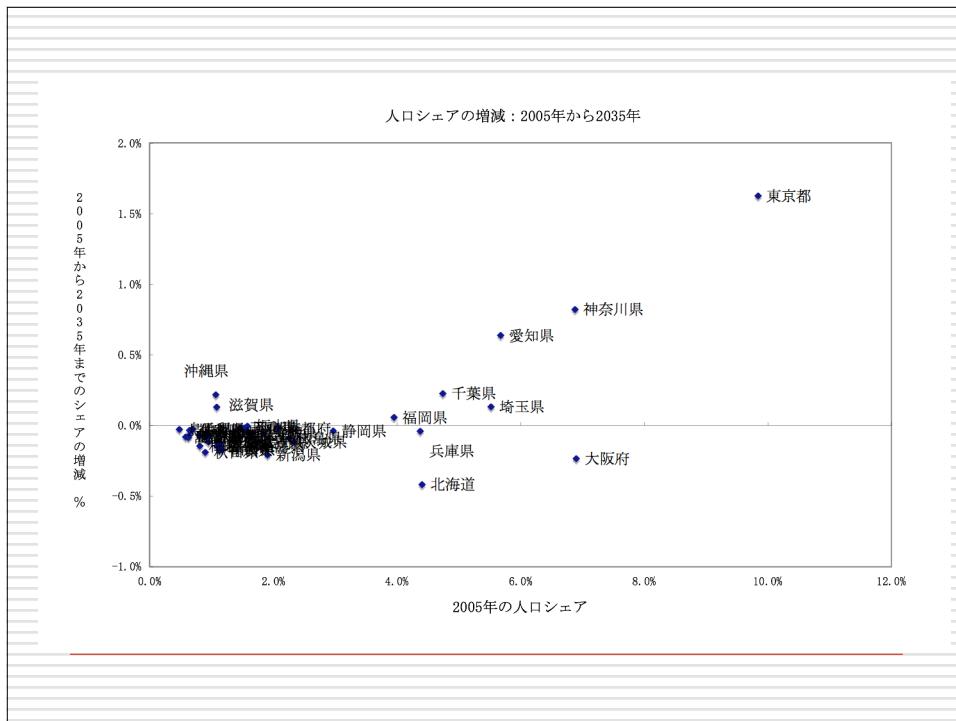


表2 人口規模の変化：2005年を100とした場合

人口規模の変化 年=100	平成17年 (2005)	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)	平成47年 (2035)
秋田県	100	95.5	90.5	85.1	79.5	73.9	68.3
北海道	100	98.0	95.2	91.8	87.7	83.2	78.4
全国	100	99.5	98.2	96.1	93.3	90.2	86.6
東京都	100	102.6	103.8	104.2	103.7	102.6	100.9
沖縄県	100	102.3	104.0	104.9	105.2	105.1	104.4

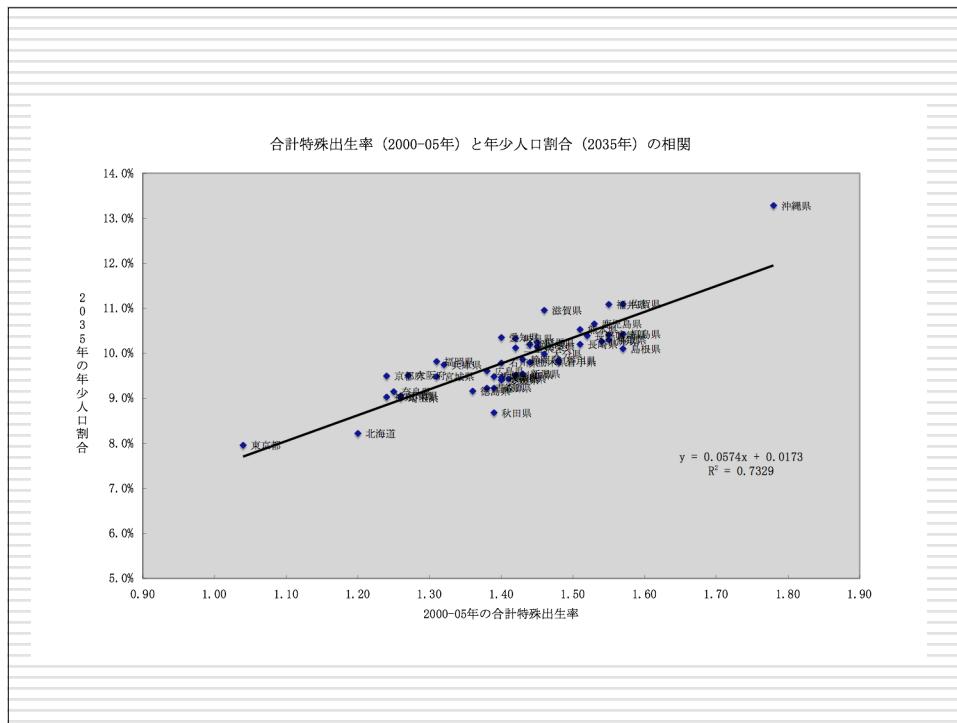
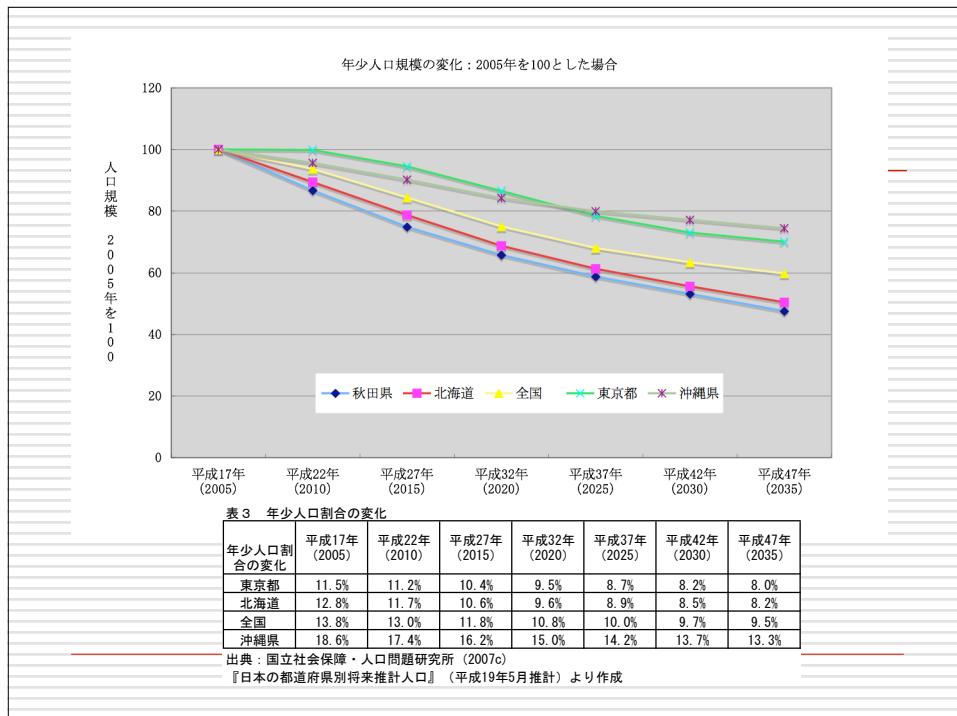
出典：国立社会保障・人口問題研究所(2007c)『日本の都道府県別将来推計人口』(平成19年5月推計)より作成

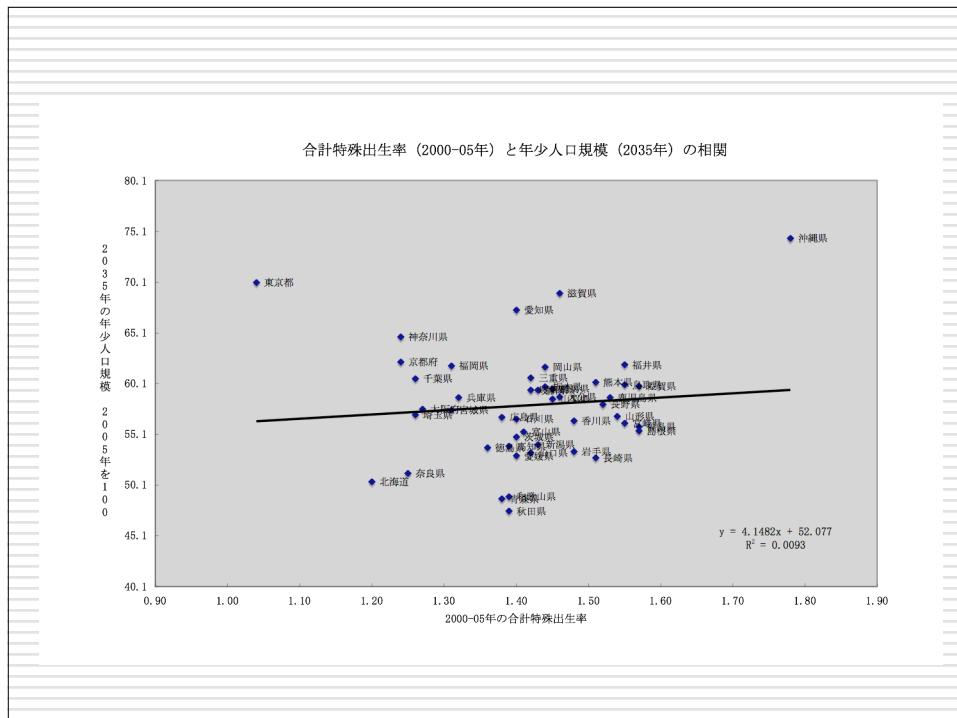


### 3. 年齢構造の変化

#### (1) 年少人口（0歳-14歳）

- すべての都道府県で割合減少。
  - 東京都は11.5%から8.0%
  - 北海道が12.8%から8.2%
  - 沖縄県で18.6%が13.3%
- すべての都道府県で規模も縮小
  - 全国平均が59.8 (39.2%減少)
  - 秋田県では47.6 (52.4%減少)
  - 沖縄県74.4 (25.6%減少) 東京都の70.1 (29.9%減少)
- 地域での子育て支援、対象が居なくなる？
- 地域出生力よりも人口移動による再生産年齢人口の増減が影響→小池・西岡・山内・管 (2007)



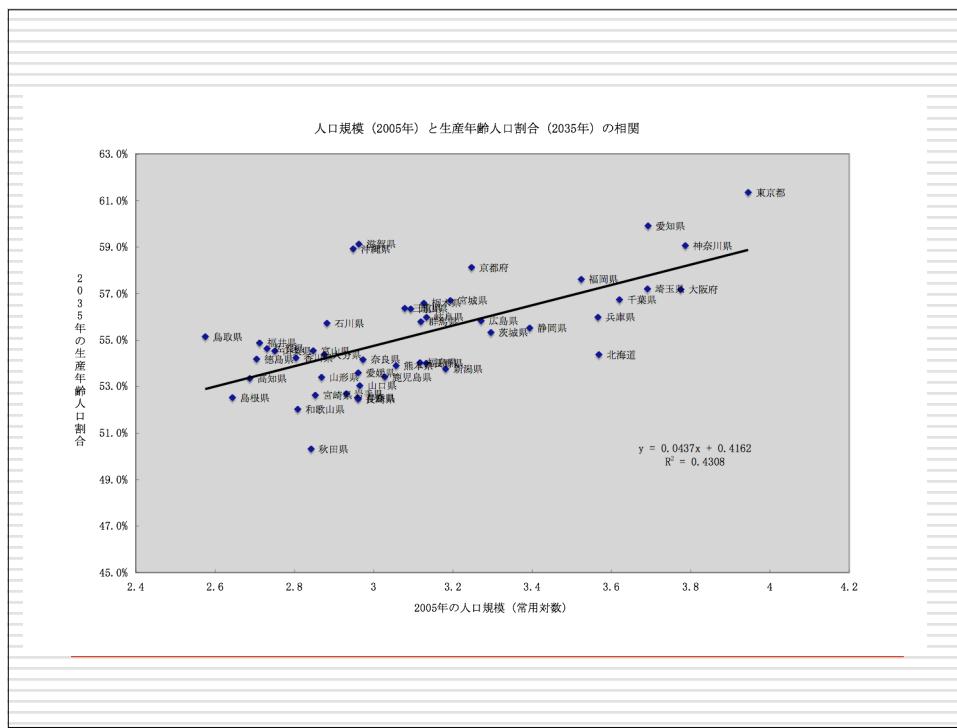
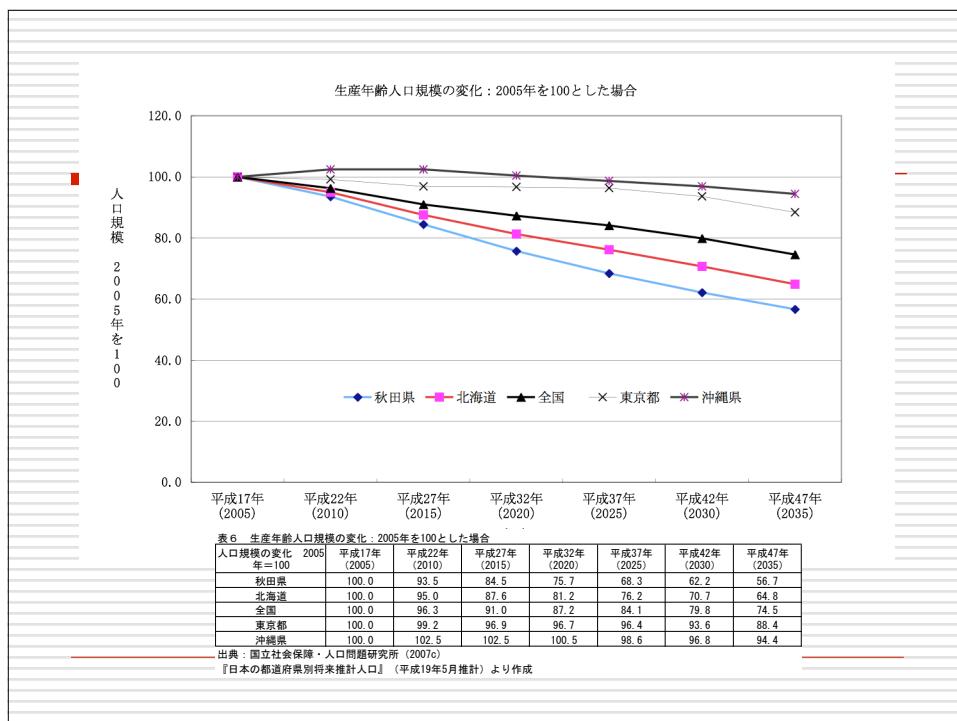


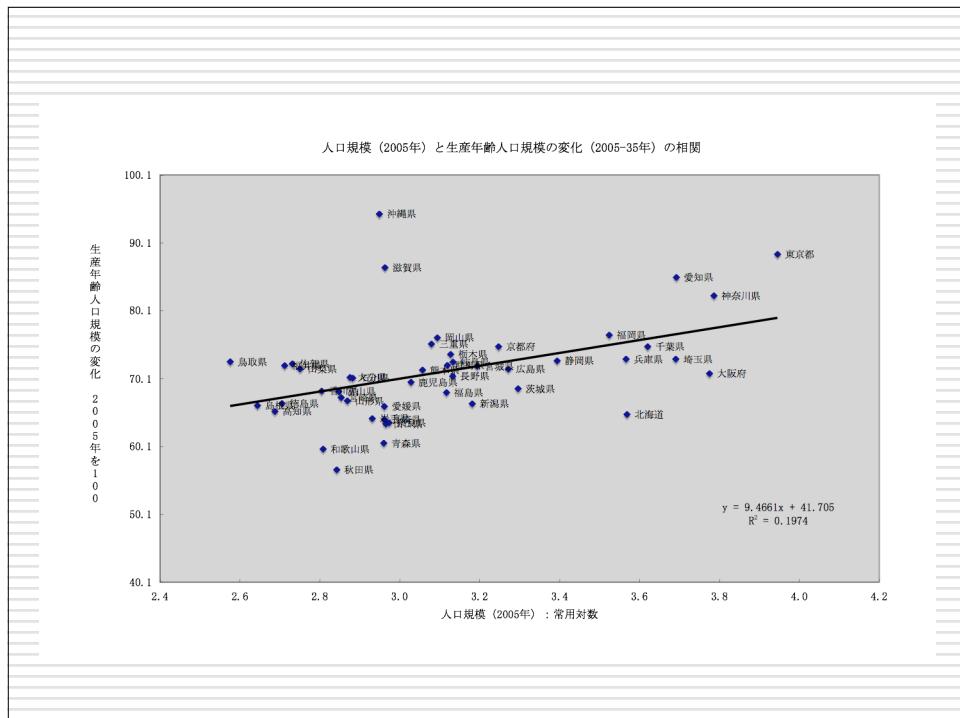
## (2) 生産年齢人口（15歳-64歳）

- すべての都道府県で割合減少。
  - 東京都は70.0%から61.4%
  - 秋田県で60.6%から50.3%まで低下
- すべての都道府県で規模も縮小
  - 東京都は88.4まで
  - 秋田県は56.7まで40%近い減少
- 急激な生産年齢人口の減少に地域経済が耐えられるか

生産年齢人口割合	平成17年 (2005)	平成22年 (2010)	平成27年 (2015)	平成32年 (2020)	平成37年 (2025)	平成42年 (2030)	平成47年 (2035)
秋田県	60.6%	59.4%	56.6%	53.9%	52.1%	51.0%	50.3%
北海道	65.8%	63.8%	60.5%	58.2%	57.1%	55.8%	54.4%
全国	66.1%	63.9%	61.2%	60.0%	59.5%	58.5%	56.8%
愛知県	67.9%	65.5%	63.2%	62.8%	62.8%	61.8%	59.9%
東京都	70.0%	67.7%	65.4%	65.0%	65.1%	63.9%	61.4%

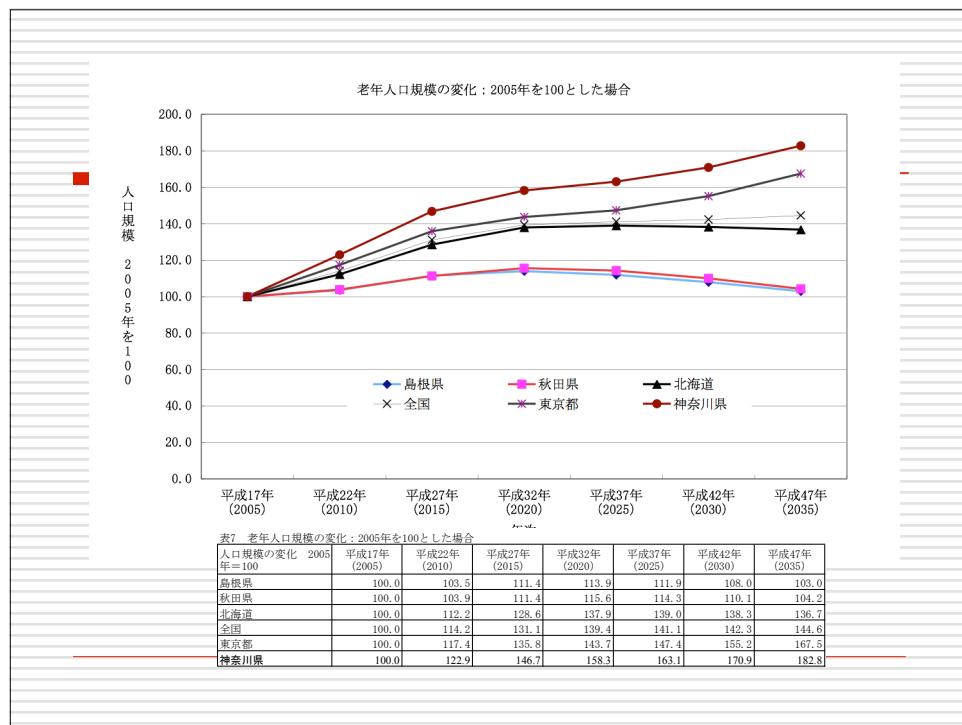
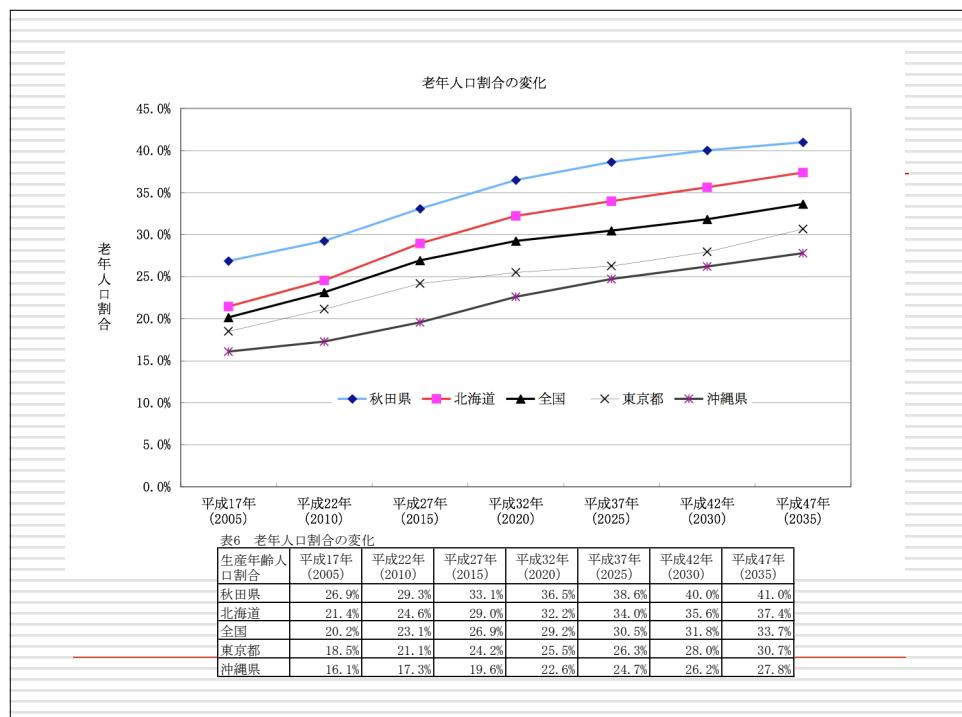
出典：国立社会保障・人口問題研究所（2007c）  
『日本の都道府県別将来推計人口』（平成19年5月推計）より作成

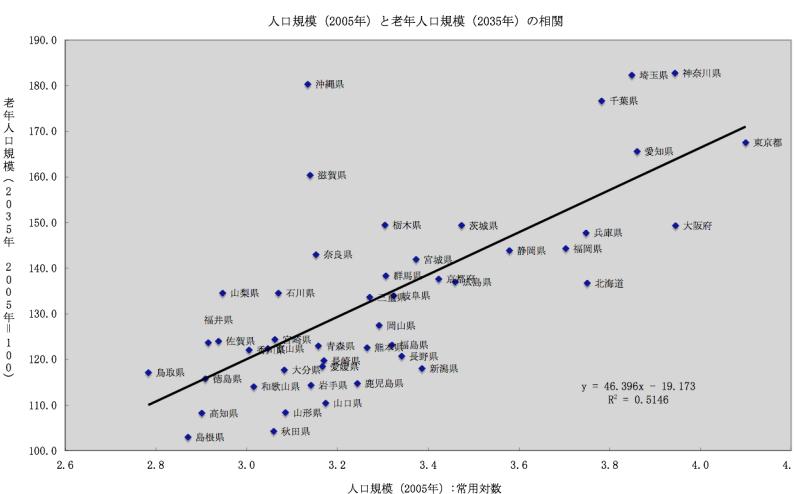
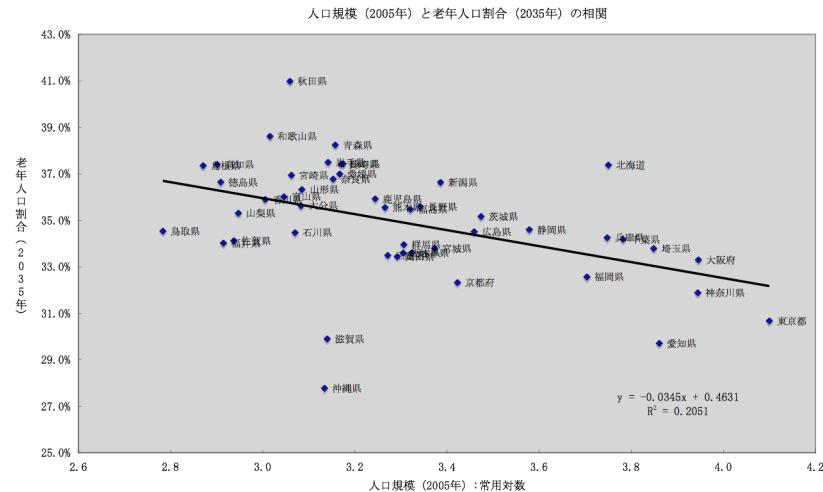


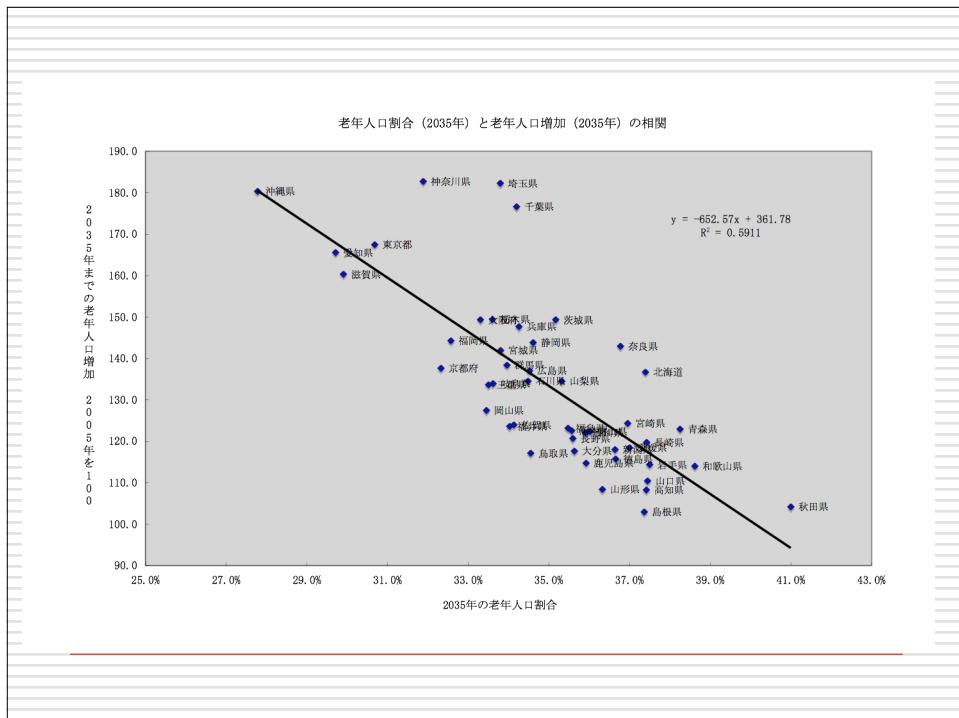


### (3) 老年人口（65歳以上）

- 44道府県で3割を越える
  - 2005年は島根県が最高で27.1%
  - 2035年の最高は秋田県41.0%
  - 広域な規模で発生する場合の対応？
- すべての都道府県で規模も拡大2025年から一部で減少
  - 大都市地域と沖縄県で75%以上増加
  - 2030年-2035年では29道県で減少
- 人口規模の小さな自治体では割合が上昇
- 人口規模の大きな自治体では規模が拡大する

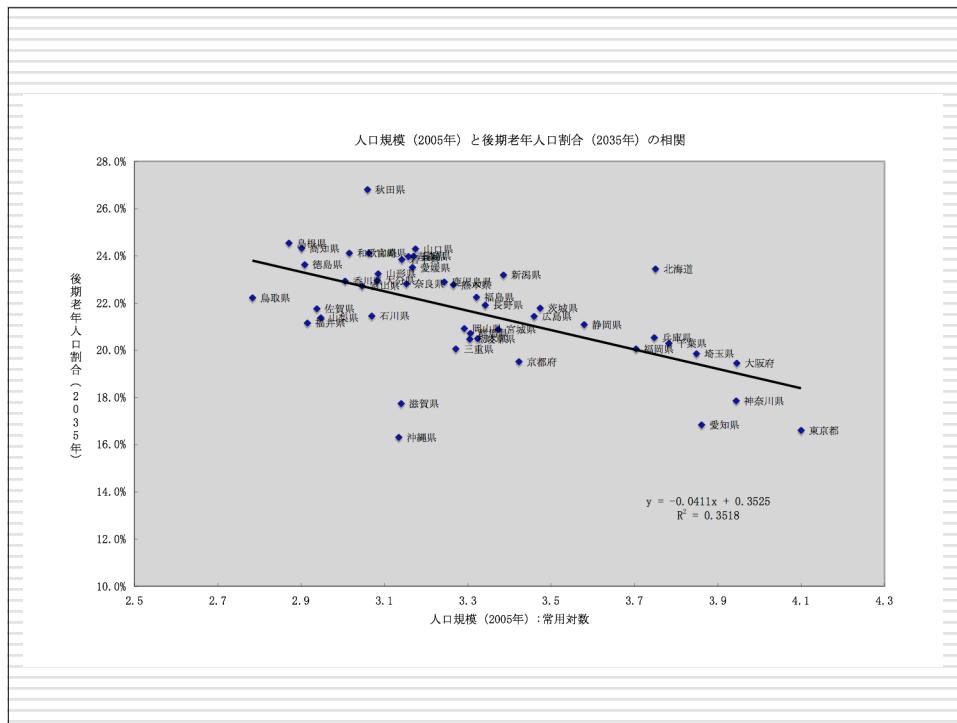
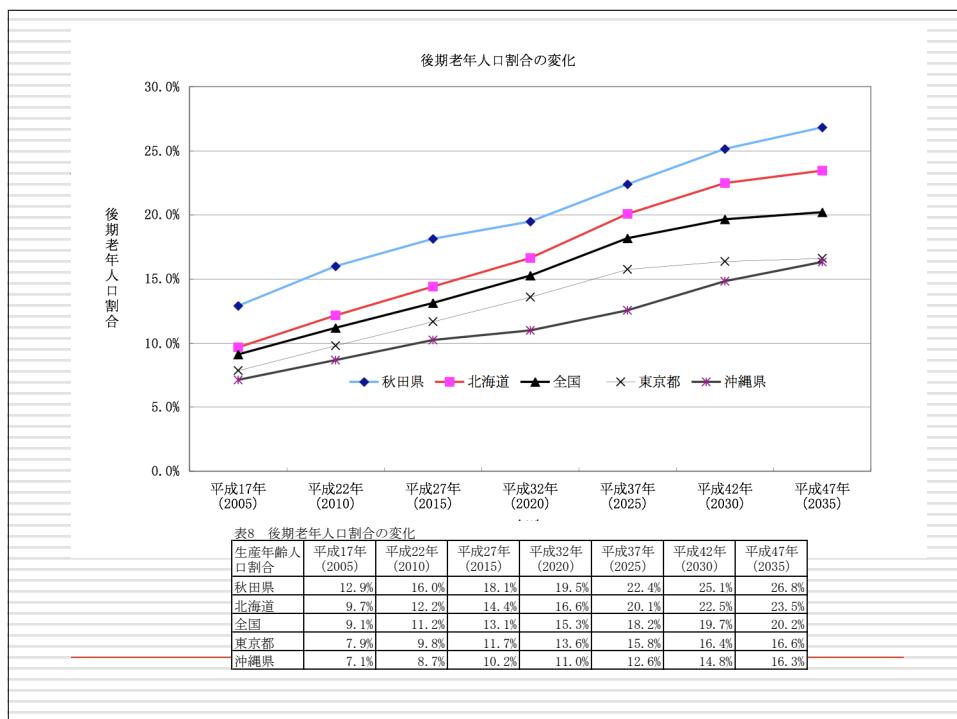


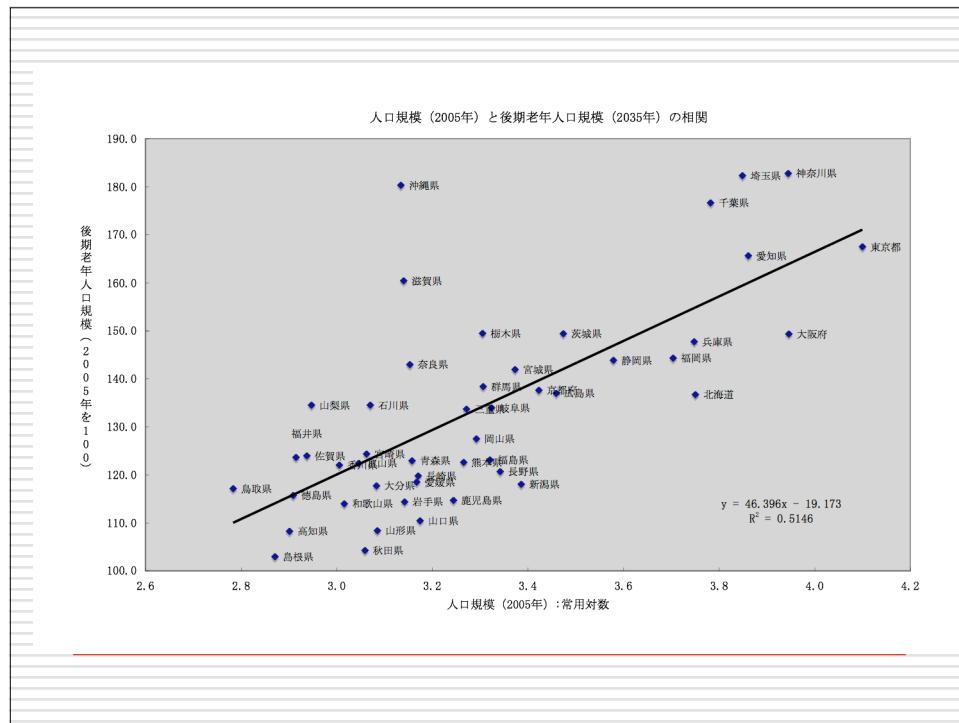
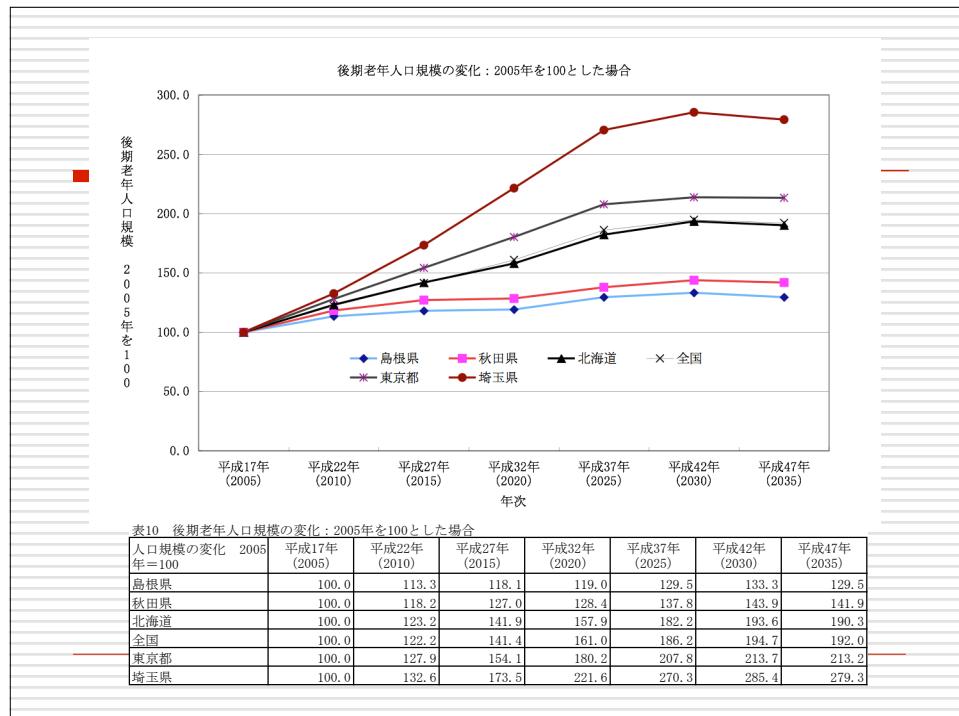


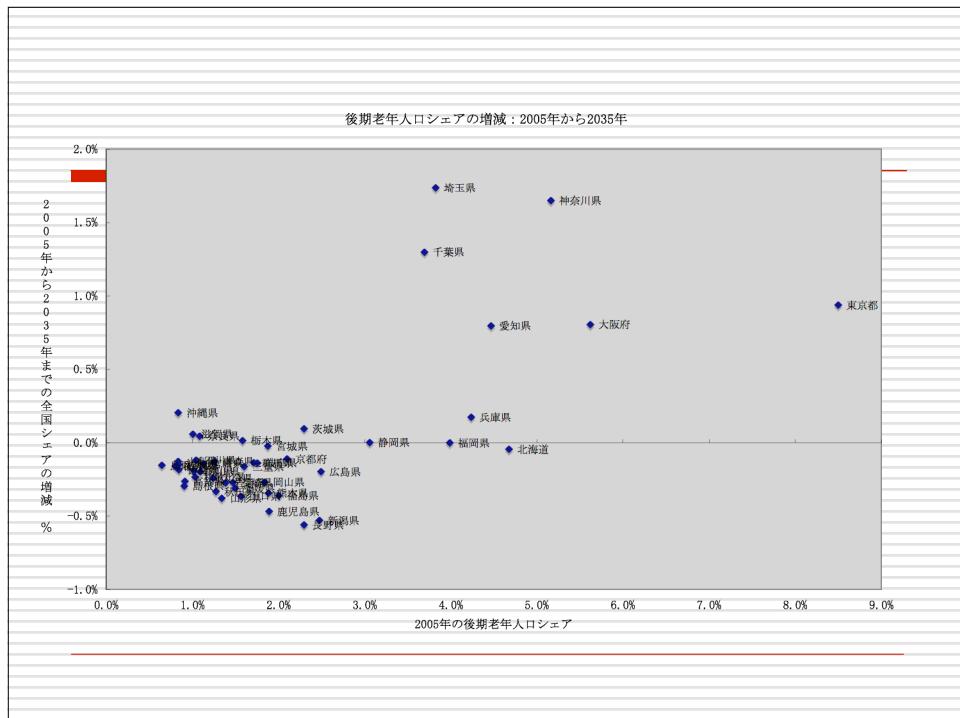


## (4) 後期老人人口（75歳以上）

- 39道府県で2割を越える
  - 2005年は島根県が最高で14.1%
  - 2035年の最高は秋田県26.8%
  - →団塊の世代の効果と思われる。
  - 2005年時点の人口規模と負の相関
- すべての都道府県で規模も拡大2035年から一部で減少
  - 大都市地域と沖縄県で100-150%以上増加
  - 2030年-2035年では35都道府県で減少
- 人口規模の小さな自治体では割合が上昇
- 人口規模の大きな自治体では規模が拡大する







## 4. 人口減少率の地域パターン

### (1) 2002年推計と2005年国勢調査結果

#### □ 推計誤差率

= (02推計人口値-05国勢調査結果) /05国勢調査結果-補正誤差率

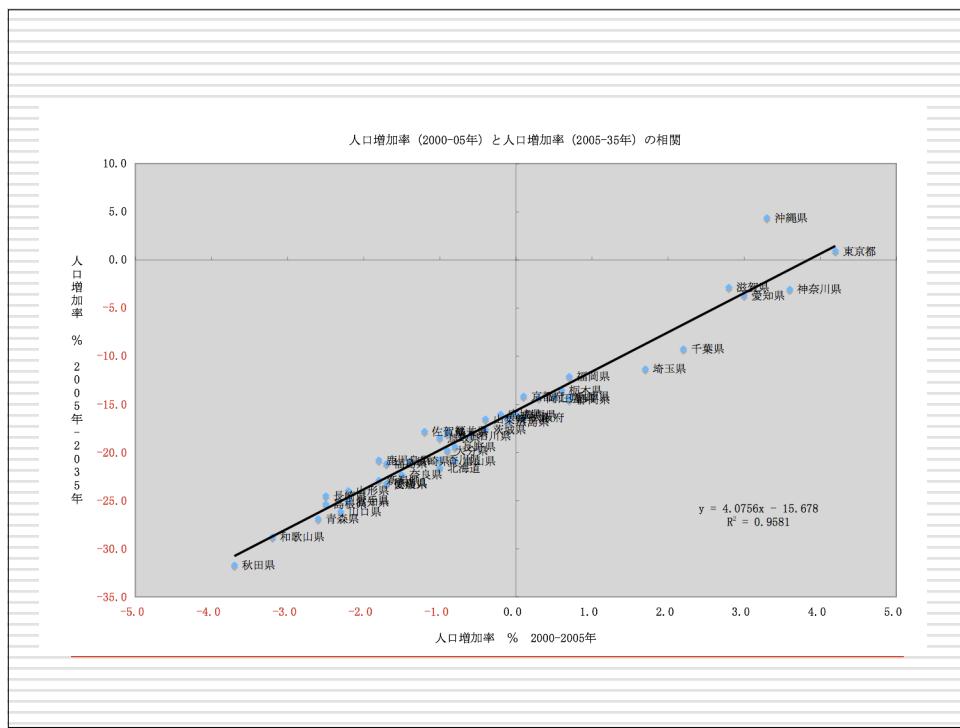
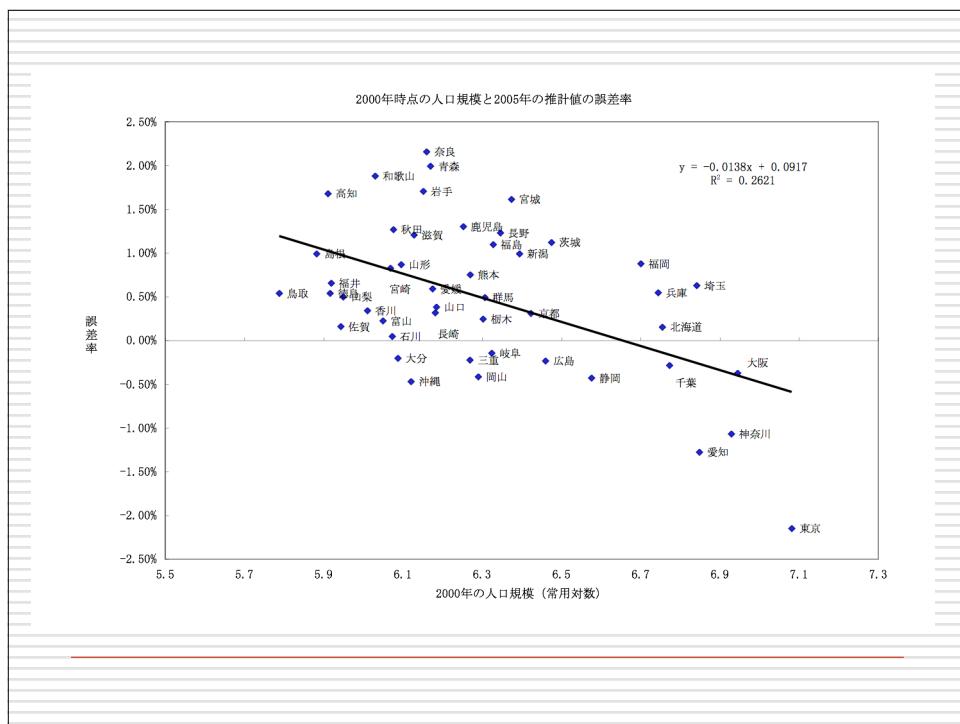
□ \*推計誤差率が+は、過大推計、-は過小推計。

#### □ 全国推計誤差率

=02全国推計人口値-05国勢調査結果=-0.05%

□ 人口規模が大きい地域ではマイナス→人口集中が進んだ

□ 人口規模が小さい地域ではプラス→人口流出が進んだ



## 変数間の相関

表 X: 主要変数間の相関関係

	人口規模05	TFR0005	人口増加率0005	人口増加率0555	年少人口割合2005	年少人口割合2035	年少人口増加率	生産年齢人口2005	生産年齢人口2035	生産年齢人口割合2005	生産年齢人口割合2035	老年人口2005	老年人口2035	老年人口増加率	後期老年人口割合2005	後期老年人口割合2035	後期老年人口増加率
人口規模05	1.00																
TFR0005		-0.70	1.00														
人口増加率0005		0.68	-0.31	1.00													
人口増加率0555		0.58	-0.16	0.98	1.00												
年少人口割合2005		-0.29	0.71	0.25	0.39	1.00											
年少人口割合2035		-0.44	0.86	0.10	0.27	0.91	1.00										
年少人口増加率		0.38	0.10	0.85	0.92	0.46	0.50	1.00									
生産年齢人口割合2005		0.79	-0.67	0.83	0.75	-0.03	-0.29	0.48	1.00								
生産年齢人口割合2035		0.67	-0.37	0.95	0.94	0.18	0.07	0.84	0.84	1.00							
生産年齢人口増加率		0.47	-0.02	0.93	0.98	0.45	0.40	0.98	0.61	0.91	1.00						
老年人口割合2005		-0.64	-0.38	-0.88	-0.55	-0.33	-0.04	-0.62	-0.94	-0.86	-0.74	1.00					
老年人口割合2035		-0.46	0.05	-0.90	-0.95	-0.48	-0.41	-0.94	-0.67	-0.94	-0.97	0.80	1.00				
老年人口増加率		0.70	-0.39	0.91	0.87	0.27	-0.00	0.64	0.93	0.84	-0.75	-0.97	-0.77	1.00			
後期老年人口割合2005		-0.71	0.45	-0.83	-0.78	-0.22	0.07	-0.53	-0.95	-0.81	-0.65	0.98	0.71	-0.96	1.00		
後期老年人口割合2035		-0.60	0.21	-0.95	-0.55	-0.37	-0.25	-0.89	-0.79	-0.97	-0.94	0.88	0.97	-0.85	0.82	1.00	
後期老年人口増加率		0.70	-0.39	0.91	0.87	0.27	-0.00	0.64	0.93	0.84	0.75	-0.97	-0.77	1.00	-0.96	-0.85	1.00

## 地域人口の増減パターン

人口規模（2005年：常用対数）と人口増加率（2005–2035年）の相関

